

2015春季講演会(東海大)シンポジウム

シンポジウムの主題(全体テーマ名)

日本語	最先端CMOS技術とその将来展望
英語(必須)	Advanced CMOS Technology and Its Future Scope

世話人

	氏名	所属	
1	最上 徹	PETRA	
2	木下 啓藏	PETRA	
3	江利口 浩二	京都大学	
4	上野 智雄	東京農工大	
5	一木 隆範	東京大学	

企画の趣旨および内容説明

- ・企画の趣旨:
先端デバイス開発は、現在も、日進月歩で進んでいる。応用物理学会を含めた国内外の学会、論文誌では、多くの論文などが報告されている。本シンポジウムでは、学会のみならず、産業界で製品化されているデバイス、あるいは今後製品化されようとしているデバイスについて講演頂き、その現状を知るとともに、将来課題を議論することを目的とするものである。学会において、より一層産業界と交流することで、知識の深化と新しい課題の浮彫化を行うことを期待する。
- ・トピックス性・過去の実績・準備状況 :
最先端のシリコンデバイスは、ますます微細化、複雑さが増しており、国際学会での発表も隆盛を極めている。そうした最先端デバイスの中から、FinFETとHKMG(High-k/Metal-gate)に注目したセッションを企画している。企業側の複数の講演者に関しては、講演可能性を打診中である。
- ・チュートリアル・一般セッションとの関連性: 半導体Aとは、デバイス、プロセス、基礎を含めた一般セッションと深い関わりがある。
- ・想定できる参加者のコミュニティー(分科、分野等): 大分類6, 7, 8, 10, 13, 14